リリース ノート

Websense® Web Security

Websense Web Filter

バージョン 7.0.1

今回のリリースにおける新しい機能

バージョン 7.0.1 では、Websense Web Security および Websense Web Filter は下記の言語にローカライズされています。

- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- ポルトガル語
- 中国語 (簡体字)
- スペイン語
- 中国語 (繁体字)

バージョン 7.0.1 でローカライズされたコンポーネントには、Websense Manager のユーザ インターフェース (調査レポートおよびプレゼンテーション レポート)、新しいユーザおよびアップグレード ユーザのクイック スタート チュートリアル、Websense Manager のヘルプ システムがあります。

Websense Manager

- 管理者は、ログオン ページのオプションを利用して Websense Manager の表示言語を変更できます。この変更は、現在のログオン セッションにだけ適用されます。新しい表示言語を選択した後も、一部の機能は引き続きインストール時の言語で表示されます。常にインストール時の言語で表示される Websense Manager の機能のリストは、Websense Knowledge Base (kb.websense.com) に掲載されています。

レポート

- 調査レポートのスケジュール ジョブが一度失敗した場合、ジョブ ステータスが “failed” に設定され、次のスケジュールされた時刻に再試行されます。以前のリリースでは、ジョブが 3 回または 4 回以上再試行されてからステータスが “failed” に設定されます。この再試行は、他のスケジュール ジョブの失敗の原因になることがあるため、廃止されました。
- ユーザ名が隠されている場合に調査レポートがソース IP アドレスを隠すように設定できるようになりました。そのためには以下の手順を実行します。

1. テキスト エディタで **wse.ini** ファイルを開きます（デフォルトでは、このファイルは C:¥Program Files¥Websense¥webroot¥Explorer）。
2. **[explorer]** という見出しの下に次の行を追加します：

   ```
   encryptIP=1
   ```

3. ファイルを保存して閉じます。

バージョン 7.0 で導入された機能

Web ベース インターフェース

Websense Manager に新しい、Web ベースのインターフェースが導入されました。現在の管理者ができる限り迅速かつ容易に変更に慣れることができるように、新しいインターフェースの多くの部分は既存の Websense Manager 画面に似ています。インターフェースの外観と感触が改善され、より使いやすくなっており、一部の名前および用語が、類似のオブジェクトの間の一貫性を保つために変更されています。Websense reporting コンポーネントを Windows システム上にインストールするとき、Websense ソフトウェアの構成、ポリシーの作成と管理、レポートがすべて 1 つのインターフェースに表示されます。

新しい管理ダッシュボード

Websense reporting コンポーネントを Windows システム上にインストールするとき、新しい Websense Manager は、管理者が Websense ソフトウェアに関する重要な情報をすばやく確認できるように、使いやすいダッシュボードを表示します。ダッシュボードはシステムの状態に関するデータ、セキュリティ統計、今日のインターネット活動（[ステータス] > [今日]）および過去 30 日間の（[ステータス] > [履歴]）を表示します。

Websense Real-Time Analyzer は廃止されました。

ポリシーおよび構成情報の集中管理

新しい Policy Database は、配備されている Websense ソフトウェア全体のクライアント、フィルタ、ポリシーおよびグローバル設定情報を保持するようになりました。複数の Policy Server を使用する環境では、これによって Central Policy Distribution または Central Configuration Distribution の必要がなくなりました。大部分の情報は、Policy Server 間で自動的に共有されます。特定の Policy Server に固有の情報だけが、個別に保持されます。新規の Websense Policy Broker は、Policy Database に格納されている情報に対する他の Websense ソフトウェア コンポーネントからの要求を管理します。

プレゼンテーション レポート

レポートコンポーネントを Windows システムにインストールすると、Websense Manager に プレゼンテーション レポートのページが表示されます。このページで、あらかじめ定義されている形式で表とグラフを生成できます。このツールは Websense Reporter の代替となります。

レポート形式を選択し、日付範囲を設定し、レポートを実行することができます。代わりの方法として、レポート形式をコピーし、次にそのレポート フィルタを編集して、特定のユーザ、カテゴリ、アクション、および他の基準を選択してからレポートを実行することができます。スケジューラ オプションを使用して、選択したプレゼンテーション レポートを実行する時刻、およびそれを一度だけ実行するか定期的に実行するかを設定できます。

調査レポート

レポート ツール Websense Explorer が Websense Manager に統合され、[調査レポート] ページからアクセスできるようになりました。別のログオン ウィンドウやブラウザ ウィンドウを開く必要なしに、柔軟な調査レポートを作成およびスケジュール設定できます。

調査レポートは Apache HTTP Server を必要とするようになりました。これは Websense Manager によって自動的に Windows 上にインストールされます。Microsoft IIS はサポートされなくなりました。

Log Database の互換性

バージョン 7 の Log Database は、新しいレポーティング機能、たとえば新しい [今日] および [履歴] ダッシュボードや新しいプレゼンテーション レポートにグラフを表示する機能等をサポートするために更新された機能を含んでいます。前のバージョンからアップグレードするときに、インストーラは新しい Log Database を作成します。これはこれらのページにレポートを生成するために使用されます。

バージョン 7 の [調査レポート] ページを使用して、バージョン 6.3.x の Log Database からレポートを生成できます。[調査レポート] ページの [オプション] リンクを選択し、[カタログ データベースの表示] チェックボックスをオフにし、レポート生成のために使用するバージョン 6.3.x の Log Database を指定します。

Websense Explorer for Linux

Windows サーバー上にレポート コンポーネントがインストールされているとき、Websense レポート機能は Websense Manager インターフェースに直接に組み込まれます。

レポートを Linux サーバー上で実行する場合は、Websense Explorer for Linux をインストールする必要があります。これは別の製品であり、別のインストーラおよびインターフェースを使用します。この製品をインストールし、使用する方法については、『Explorer for Linux 管理者用ガイド』を参照してください。製品の変更の概要および出荷直前の情報については、『Websense Explorer for Linux リリースノート』を参照してください。

バックアップおよび復元ツール

Websense ソフトウェアに、Websense バックアップ ユーティリティが組み込まれました。これは Websense 設定のバックアップと復元を容易にするコマンドライン ツールです。バックアップ ユーティリティは、Websense コンポーネントを含む各コンピュータ上で定期的に実行するようにスケジュール設定します。重大なシステム障害が発生した場合、このユーティリティを復元モードで実行して、最後に正常に実行していたときの設定に戻します。

複数の管理者の同時ログオン

指定済み管理機能が大幅に改善され、複数の管理者が同時にログオンすることが可能になりました。

- **ロールが異なる**複数の指定済み管理者が同時に、自分のクライアントのポリシーを管理するためにログオンできます。
- **同じロールが割り当てられている**複数の管理者が同時に、自分のクライアントのレポートを実行するためにログオンできます。

指定済み管理者用のフィルタリング ツールの拡張

このリリースでは、指定済み管理者は、管理下のクライアントをフィルタリングするために使用する制限付きアクセス フィルタ、カスタム カテゴリ、カスタム URL、キーワードを作成できます。これらのコンポーネントは、完全にロール固有になりました。特定のロールで作成されたカスタム カテゴリは他のロールの管理者には表示されず、他のロールによって管理されるクライアントには影響を及ぼしません。

フィルタ ロックでは、Master Database のカテゴリだけがブロックおよびロック可能です。カスタム カテゴリはフィルタ ロック カテゴリ ツリーには表示されません。

選択認証

Websense ソフトウェアの以前のバージョンでは、管理者がグローバルにユーザ認証方法を設定する必要がありました。バージョン 7 では選択認証が導入され、それによって特定のコンピュータに対して、ネットワーク上の他のコンピュータと異なる識別方法を使用できるようになりました。たとえば、ネットワークがユーザを透過的に識別する（統合製品、または Websense の透過的識別エージェントを通じて）ように構成されている場合、特定のコンピュータ（たとえば、パブリック キオスク）に対してはユーザが識別されないようにし、他のコンピュータ（たとえば、病院の医療スタッフが共有するコンピュータ）に対してはユーザがインターネットにアクセスする前に必ずログオンすることを要求するように設定できます。

操作のヒント

Websense Manager をより効率的に使用するために、以下のヒントを活用してください。

- Websense Manager を起動するときに表示されるクイック スタート チュートリアルを利用します。このチュートリアルは、**[ヘルプ]** メニューからアクセスすることもできます。
  - Websense フィルタリング ソフトウェアを始めて使用する場合は、「新しいユーザのクイック スタート チュートリアル」を利用して、基本的な構成、フィルタ ポリシーの作成、およびレポートについて学習してください。
  - Websenseフィルタリング ソフトウェアの以前のバージョンを使用していた場合は、「アップグレード ユーザのクイック スタート チュートリアル」を利用して、新しい Web ベースの Websense Manager に慣れ、製品に関連する新しい用語を理解してください。
- ブラウザのすべてのポップアップ ブロッキング機能を無効にします。
- Websense セキュリティ認証をインストールするか、Websense Manager を最初に起動するときに永久的に受け入れます。その方法については、Knowledge Base (kb.websense.com) を参照してください。
- ブラウザの [戻る] および [リフレッシュ] ボタンの使用は避けてください。代わりに、ページの上部のブレッドクラム、または左および右のナビゲーション ペインを使用します。
- サブスクリプション キーを入力した後、Master Database のダウンロード中に、[設定] ページでシステム設定作業を実行します。ダウンロードが完了した後、ポリシー管理機能にアクセスする前に、ログオフし、もう一度ログインします。

- **Websense Manager の各ページの下部の [OK] をクリックして、ページ上で行った変更をキャッシュします。**

  場合によっては、2 番目の作業を実行するときに、2 番目のページで [OK] をクリックしてからもう一度メインページで [OK] をクリックして変更をキャッシュする必要があります。「変更点はキャッシュされました」という正常完了メッセージが表示されるのを確認してください。

- キャッシュされている変更を適用するには、右側のショートカットペインの上部の **[すべて保存]** をクリックします。

  Websense のすべてのコンポーネントに変更が適用されるのに最大 30 秒かかります。

Websense レポート ツールをより効率的に使用するために、以下のヒントを活用してください (Windows)。

- 新しいプレゼンテーション レポートを作成するには、はじめに既存のレポートをコピーし、次にコピーのレポート フィルタを編集しなければなりません。
- Windows コンピュータ上に Websense Manager をインストールし、次に Log Server をインストールする場合、Websense Manager コンピュータ上で手動で **ApacheTomcatWebsense** サービスを再起動します。こうすれば、レポート データが Websense Manager に確実に表示され、スケジュール設定されたジョブが Log Database に正しく保存されます。

わかっている問題

アップグレード

- 既存の監査ログ データを保存する場合は、アップグレードする前に監査ログをエクスポートしてください。
- バージョン 6.x からバージョン 7.x にアップグレードするとき、既存のポリシー サーバ構成ファイル (config.xml) のサイズが、アップグレードを実行するために必要な時間に影響を及ぼします。ファイルが大きいほど、処理に長い時間がかかります。Websense テクニカル サポートからの指示がない限り、アップグレード処理を中断してはいけません。
- バージョン 6.x からのアップグレード中に、Websense ソフトウェアは既存の Master Database を削除します。短時間の間、小さい、部分的なデータベース (すべての Websense プロトコル定義を含んでいないことがあります) を使ってフィルタリングが行われます。インストールが完了して完全な Master Database のダウンロードが行われるとき、最初の、インストール データベースに含まれていないプロトコルはすべて、デフォルトのアクション (フィルタリング オプション) を割り当てられます。既存のプロトコル セットをもう一度チェックして、各プロトコルに正しいアクションが割り当てられていることを確認してください。
- バージョン 6.x からのアップグレードの後、「悪質なトラフィック」グループの中のブロック不可能なプロトコル (「電子メールによるワーム」、「その他」) は既存のフィルタでブロック アクションが適用されているように表示されます。これは表示エラーで、プロトコルのフィルタリングには影響しません。

インストール (一般)

Websense インストーラの [修正] オプションは廃止されました。コンポーネントの問題を解決するには、コンポーネントをアンインストールし、次に再インストールします。その方法については、インストール ガイドを参照してください。

Websense Manager (一般)

- Websense ソフトウェアのローカライズされたバージョンをインストールした後、Websense Manager のログオン ページが英語で表示されることがあります。この問題を解決するには、Websense Manager がインストールされているコンピュータ上で ApacheTomcatWebsense サービスを再起動します。この問題はログオン ページでのみ発生し、Websense Manager の他のページでは発生しません。
- 確認のためのポップアップ メッセージが表示された場合は、必ず 1 分以内に応答してください ([OK] または [キャンセル] をクリック)。確認のためのポップアップ メッセージを 1 分以上の間無視すると、Websense Manager からログオフされ、未反映の変更点が失われます。
- [未反映の変更点の表示] をクリックすると、キャッシュされた変更の要約が表示されます。複数の機能領域を含む複雑なページ (特に [設定] ページ) の変更をキャッシュすると、1 つの機能領域だけが変更された場合でもページ上のすべての機能領域がリストされることがあります。同様に、複数のページ (特に [ポリシー管理] ページ) の変更をキャッシュすると、複数の機能領域を含む単一のエントリが表示されることがあります。
- 右側のショートカットペインを使用して [共通のタスク] リスト内の項目にジャンプしたとき、コンテンツ ページには正しいページが表示されるのに右側のナビゲーション ペインが適切に更新されないことがあります。
- Websense Manager コンピュータの再起動中に管理者が Websense Manager にログオンし、ポリシー管理タスクを実行すると、その管理者は 30 分間、再ログオンできなくなることがあります。

ポリシー管理

- バージョン 6.3.x からのアップグレードのプロセス中に一部のポリシーが正しく再作成されないことがあります。ポリシーによって適用されるカテゴリ セットまたはプロトコル セットが、ポリシーの割り当て後に名前が変更されている場合、アップグレード プロセスでポリシーとカテゴリまたはプロトコル セットの間の関係を維持できません。アップグレードされた Websense Manager には、カテゴリまたはプロトコル フィルタが正しい名前で表示されますが、ポリシーはデフォルト カテゴリまたはプロトコル フィルタを適用するように変更されます。「確認してください」というメッセージが、この方法で編集されたポリシーの名前とともに表示されます。正しいカテゴリまたはプロトコル フィルタを適用するようにポリシーを編集します。
- Websense Manager にディレクトリ クライアント (ユーザ、グループ、ドメインまたは組織単位) を追加するとき、スラッシュ文字 (/) を含むドメインまたは組織単位名はサポートされません。
- Websense Master Database にカテゴリまたはプロトコルが追加されたとき、それらのカテゴリまたはプロトコルにはすべてのカテゴリおよびプロトコル フィルタでのデフォルト アクション (許可、ブロックなど) が割り当てられます。そのため、「モニタのみ」フィルタでカテゴリまたはプロトコルがブロックされる場合があります。「モニタのみ」フィルタがブロックせずに継続的にモニタするようにするには、新しいカテゴリおよびプロトコルに対するアクションをそのように編集します。カテゴリおよびプ

ロトコルが Master Database に追加されるか Master Database から削除されたとき通知を受け取るようにシステム アラートを設定します。

レポート

- Websense Explorer を含む環境をアップグレードするとき、既存の使用頻度の高いレポート は保持されません。自分の使用頻度の高いレポートを、Websense Manager の [調査レポート] ページで、手動で再作成しなければなりません。
- ApacheTomcatWebsense サービスが Log Database にアクセスできない場合 (たとえば、Websense Manager が Log Server より前にインストールされているために)、スケジュール設定されたジョブはメモリ内に保存されます。サービスが再開された場合 (または Websense Manager コンピュータが再起動された場合)、ローカル メモリに保存されているすべてのスケジュール設定されたジョブは失われます。最近バージョン 7 をインストールし、多数のスケジュール設定されたジョブを作成することを計画している場合、はじめに ApacheTomcatWebsense サービスを再起動しておくとよいでしょう。
- [プレゼンテーション レポート] > [レポート フィルタの編集] ページのタブをスキップしないでください。レポート フィルタを編集していて、1 つのタブだけを変更して [確認] へ進むと、フィルタを保存できないか、レポートを生成できないことがあります。レポート フィルタを保存し、レポートを生成するには、[次] ボタンを使ってタブを順に移動することによってすべてのタブへの入力を完了しなければなりません。[確認] タブにレポート名が表示されることを確認してください。
- 11 つのレポートに含まれるデータの量を限定したり、大きなレポートを対話形式で実行するのではなく実行をスケジュールする場合、レポート フィルタを使用してください。Websense Manager 内から大量のデータを含むプレゼンテーション レポートを実行すると、レポートの生成中にインターフェースがフリーズしたように見えることがあります。
- [設定] > [ログオン] ページは、管理の目的で Websense Manager にログオンする個人を認証するために使用するディレクトリ サービスを構成するためのページです。ページに表示されるラベルに関わらず、このディレクトリはセルフ レポーティングの目的でログオンする個人を認証するためには使用されません。
- Websense Web Filter をインストールした後で Websense Web Security のライセンスを更新した場合、「セキュリティ リスク」クラスは自動的には、新規に有効にされた「セキュリティ」カテゴリを含むように更新されません。この問題は、次の完全なデータベース ダウンロードの後に是正されます。ダウンロード中に Websense Manager にログオンした場合、ログオフしてからもう一度ログオンし、[設定] > [リスク クラス] ページで変更を確認してください。

ブロック ページ

ユーザが Microsoft Internet Explorer を通じて、ブロックされている FTP サイトを要求したとき、ブラウザは実際のブロック ページではなく、ブロック ページの HTML ソース コードを表示します。この混乱を避けるために、ユーザにこの問題について知らせておくとよいでしょう。

指定済み管理

- 場合によっては、指定済み管理者が、優先管理者によってブロックまたはロックされているカテゴリまたはプロトコルに適用されるアクションを変更できるように見えることがあります。そのような変更は保存されず、指定済み管理者の処理対象クライアントに適用されません。フィルタ ロック設定は保持されません。

- 指定済み管理を使用し、管理者が自分のネットワーク アカウントを使って Websense Manager にログオンするのを許可する場合、管理者アカウント名にセミコロン、コロンや同様の特殊文字を使用するのを避けてください。
- Master Database の最初のダウンロード中には、指定済み管理ロールを作成するのを避けてください。Master Database は最初のダウンロード中にいくつかのカテゴリおよびプロトコルを作成しますから、指定済み管理ロールを正しく作成することはできません。

詳しい情報の問い合わせ先

Websense ソフトウェアおよびサービスに関する技術情報は、下記のサイトで 24 時間利用できます。

www.websense.com/support/

- 最新のリリース情報
- 検索可能な Websense Knowledge Base
- 実習用チュートリアル
- 製品マニュアル
- ヒント
- よく尋ねられる質問への回答
- 詳細な技術文献

さらに質問がある場合は、このページの上部の [Contact Support] タブをクリックし、オンライン サポート フォームに入力してください。

緊急に対応しなければならない問題である場合は、下記のいずれかの営業所にお電話ください。待機中の技術者に転送され、その技術者が対応します。

国・地域	連絡先情報
北米	+1 858-458-2940
フランス	最寄りの Websense 再販業者にご連絡ください。 再販業者が見つからない場合 : +33 (0) 1 57 32 32 27
ドイツ	最寄りの Websense 再販業者にご連絡ください。 再販業者が見つからない場合 : +49 (0) 69 51 70 93 47
英国	最寄りの Websense 再販業者にご連絡ください。 再販業者が見つからない場合 : +44 (0) 20 3024 4401
その他のヨーロッパ諸国	最寄りの Websense 再販業者にご連絡ください。 再販業者が見つからない場合 : +44 (0) 20 3024 4401
中東	最寄りの Websense 再販業者にご連絡ください。 再販業者が見つからない場合 : +44 (0) 20 3024 4401
アフリカ	最寄りの Websense 再販業者にご連絡ください。 再販業者が見つからない場合 : +44 (0) 20 3024 4401
オーストラリア / ニュージーランド	最寄りの Websense 再販業者にご連絡ください。再販業者が見つからない場合 : 1-800-881-011、アクセス コード 800-542-8609
アジア	最寄りの Websense 再販業者にご連絡ください。 再販業者が見つからない場合 : +86 (10) 5884 4200
ラテンアメリカおよびカリブ地域	最寄りの Websense 再販業者にご連絡ください。

サードパーティ・ソフトウェアに関するお知らせ

Websense Inc. ではお客様の既存の環境と統合するソフトウェア ソリューションを提供しています。今日の市場で一般的になっている複雑な環境の下では、広範なサードパーティ ソフトウェア製品の利用が欠かせません。場合によっては、Websense Inc. はこのサードパーティ ソフトウェアの取得を簡略化するよう努力しています。ただし、お客様にはそのサードパーティ・ベンダーから直接それらの製品のアップグレードや強化ツールを取得していただく必要があります。

ご質問がございましたら、詳しい情報について Websense テクニカル サポートにお問い合わせください。

加入契約書

本契約は、ウェブセンスが、そのソフトウェアおよびデータベースをご使用いただくため、お客様に加入をお勧めする際の諸条件を記載するものです。下記の「同意します。」の表示をクリックすることにより、または、ウェブセンスのソフトウェアもしくはウェブセンスのデータベースを使用することにより、**お客様には、本契約を読み、かつ、その内容を理解したことを了承していただき、さらに、本契約の条件に拘束されることに同意していただくこととなります。**

1. 加入サービス

92121 カリフォルニア州、サンディエゴ、ソレント・バレー・ロード 10240 に所在するウェブセンス・インク（以下、「当社」といいます。）は、お客様に対し、本契約の条件に従う一定の加入サービス（以下、「本加入サービス」といいます。）を本契約により提供します。お客様は、譲渡不可の本加入サービスの一部として、一定の当社の専売権付きソフトウェア・アプリケーション（以下、「本ソフトウェア」といいます。）、URL アドレス、アプリケーションおよびその他有益情報に関する当社の専売権付きデータベース（以下、「本データベース」といいます。）、本データベースの内容の変更（以下、「本データベースのアップデート」といいます。）、および、本ソフトウェアへの一定の修正または改訂（以下、「本ソフトウェアのアップグレード」といいます。）、ならびに、適切なドキュメンテーション（以下、「本製品」と総称します。）に対し、以下に定める通り、定期的にアクセスできるものとします。意味を明確にする目的上、「本ソフトウェア」という用語には、本ソフトウェアのアップグレードを含むものとし、かつ、「本データベース」という用語には、本データベースのアップデートを含むものとします。

2. 試用評価キー

お客様は、試用評価のため、加入見込み顧客として、暗号化された英数字により構成された仮アクセス・コード（以下、「試用評価キー」といいます。）を受け取られた場合には、お客様の加入の有無を決定する基準とするため本製品の性能を評価する目的で行うお客様の社内用途に限って試用評価キーを使用していただくこととなります。試用評価キーにより、お客様は、試用評価キーと共に提示された条件に従い、最長で 30 日間、本ソフトウェアの一部を使用して本データベースの一部へアクセスできます。30 日間の試用期間の末日に、(i) 本契約は終了するものとし、かつ、お客様は、サーバー、コンピュータ、電子機器、デバイス、記憶媒体、もしくは、その他の場所に所在するとを問わず、自らが占有する本製品の全てを返却し、破棄していただくか、または、(ii) お客様が、本加入サービスの暗号化された英数字で構成された有料アクセス・コード（以下、「加入キー」といいます。）を取得するために本加入サービスの料金（以下、「加入料」といいます。）を支払うことにより、上記の限定的な試用評価のための使用から本加入サービスへ移行していただく必要があります。

3. 加入キー

当社とお客様の双方が、購入約定（以下、「本注文書」といいます。）の条件に相互に同意した場合、その後、当社は、お客様に対し、お客様が、本契約に定める条件に従い一定の本データベースへアクセスし、かつ、本ソフトウェアを使用できるようにする加入キーを発行します。お客様は、当社のウェブサイト（http://www.websense.com）から本ソフトウェアをダウンロードし、または、当社が提供するコンパクト・ディスク、ディスケット、テープもしくはその他の媒体から、お客様のサーバーへ本ソフトウェアを移行させることができます。お客様は、お客様自身またはお客様の子会社もしくは関連会社の社内利用目的および事業運営において、かつ、そのために、特定のサーバー上においてのみ、一定の本データベースへアクセスするよう、本ソフトウェアを使用できます。また、お客様の別のロケーション内に所在する別のサーバー上で動作させるため、加入キーを移転または転送ができるものとします。

4. 加入料

お客様は、加入料を支払うことにより、本加入サービス期間中に、加入料の対象であるシートの数に基づき注文済みの本データベースへアクセスすることができます。「シート」とは、サーバーを経由するか否か、または、サーバーに関連するか否かを問わず、本データベースへのアクセス、または、本データベースの使用を承認された各コンピュータ、電子機器またはデバイスをいいます。お支払いいただく金額は、本注文書に記載され、かつ、当社または当社の認定再販業者（以下、「再販業者」といいます。）からの請求書により請求されます。**シートの数を超過しての使用は、お客様が、追加シートについて追加の加入料をお支払になった場合に限り可能です。**当社は、いつでも通知を行った上で、または、間接的に、通常の業務時間中におけるお客様によるオンサイトでの本製品の使用状況を検査できるものとします。予め申し込まれなかったシートについては、お客様に対し請求書を送付の上、支払の請求をさせていただきます。お客様が、請求書を受領してから 30 日以内に支払を行われなかった場合、当社は、未払残高に関して月利 2% に相当する金額、あるいは、準拠法に基づき許容される最高額のうち、いずれか低い方の料率での遅延損害金を請求できるものとします。本契約に定める料金の全てには、本契約に基づき許諾された権利、本契約において供給される本製品、または、本契約を通じて提供されるサービスに関連する売上税（消費税）、使用税、資産税、付加価値税、源泉税、または、その他税金、賦課金もしくは料金（以下、「税金」といいます）を含みません。これら税金の納付は、お客様の責任にのみ帰すものとし、お客様に対し請求され、かつ、お客様によって支払われるものとします。ただし、本条は、当社の純利益に賦課される税金、または、給与支払税には適用されないものとします。

5. 有効期間／更新

本契約中において使用される「本期間」という用語は、本加入サービスの当初期間および本加入サービスのその後の更新期間をさすものとします。本加入サービスの当初の本期間は、本注文書に記載されます。お客様は、更新された本期間において本データベースのアクセスが中断されないよう、その時点の本期間の満了日に先立ち追加の年間加入料をお支払いただく必要があります。

6. データベースのアップデートおよびソフトウェアのアップグレード

当社は、定期的に本データベースのアップデートおよび本ソフトウェアのアップグレードを実行します。本加入サービスにより、お客様は、当社に対し、お客様の合理的な指示に従い、お客様の指定サーバーに対して、本データベースのアップデートをダウンロードするよう通知できます。当社は、お客様に対し、最新のリリース版を含む本ソフトウェアのアップグレードをインストールするよう求めることができるものとします。お客様が、お客様のシートの適切な加入料をお支払になっている場合に限り、お客様に対し、本データベースのアップデートおよび本ソフトウェアのアップグレードを提供します。お客様がアクセスした可能性があり、または、アクセスを試みた可能性がある URL アドレスについては、当社がかかる URL アドレスを分析、分類し、かつ、本データベースに蓄積できるよう、お客様は、マニュアルにて、または、当社の専売権付きソフトウェアである WebCatcher™ の自動化技術を利用して、ご自身のご判断によって、当社に対しかかる URL アドレスを提供できるものとします。お客様が、WebCatcher™ を使用可能にすることを選択した場合に、当社は、いずれの特定の法領域においても、かかるモニタリングの適法性についていかなる表明も行わず、かつ、提案された本製品のかかる用途が、準拠法令に従っていると判断することについては、当社の責任ではなく、お客様の責任に帰すものとします。

7. 電子メールの配信登録解除

当社は、お客様に対し、電子メールにより、情報提供、広告または技術に関する連絡事項を定期的に送信できるものとします。お客様は、配信登録解除を求めて、optoutlegal@websense.com 宛てに電子メールを送信することにより、上記の連絡事項の受信を「中止（オプトアウト）する」ことを選択できます。上記のように電子メールを送信の上、「中止（オプトアウト）する」ことを選択された場合には、お客様は、当社の本製品のアップグレードおよびエンハンスメントに関する連絡事項を記載した電子メールに関し、これを受信しないことについて了承し、同意していただいたこととなります。

8. プレミアム・グループ及びアプリケーション・モジュール

お客様が追加のアプリケーション・モジュールを利用できるようにする加入サービス等を含め、当社は、一定の高度な加入サービスを提供できます。当社とお客様の双方は、本注文書に従い、当社が、お客様に対し高度な加入サービスを提供する条件について合意できるものとします。お客様が、高度な加入サービスを利用するシートに関して、適切な加入料を支払われている場合に限り、当社は、高度な加入サービスを提供するものとします。一定の高度な加入サービスに関し、かかる高度な加入サービスによる便益を享受するため、お客様は、お客様のサーバー上だけではなく、個別のコンピュータ、電子機器またはデバイス上に、本注文書において指定された一定の本ソフトウェアをインストールする権利を有するものとします。本加入サービスが適切なアプリケーション・モジュールを含む場合、お客様がアクセスした可能性があり、または、アクセスを試みた可能性があるアプリケーションの名称について、当社がかかるアプリケーションの名称を分析、分類し、かつ、本データベースに蓄積できるよう、お客様は、マニュアルで、または、当社の専売権付きソフトウェアである AppCatcher™ の自動化技術を利用して、ご自身のご判断で、当社に対してかかるアプリケーションの名称を提供できるものとします。お客様が、AppCatcher™ を使用可能にすることを選択した場合、当社は、いずれの特定の法領域においても、かかるモニタリングの適法性についていかなる表明も行わず、かつ、提案された本製品のかかる用途が、準拠法令に従っていると判断することについて当社とお客様のいずれかの責任を問う場合には、お客様の責任に帰すものとします。

9. 利用規定

お客様には、以下の各号に記載される事項を表明、保証していただきます。(i) お客様は、自らによる本製品の使用に関連して個人のプライバシーの権利侵害を回避するため、あらゆる適切な手段を講じること、(ii) お客様は、本製品の全ユーザに対し、ユーザによるお客様のコンピュータ、電子機器およびデバイスの使用がモニターされていることがある旨、ならびに（場合に応じて、）インターネットまたはアプリケーションへのアクセスを含め、本製品を使用する際に、ユーザが、プライバシー保護についていかなる期待もすべきでない旨の書面による通知を付与すること、(iii) お客様は、当社に対し、ウェブまたはアプリケーションの使用データを提出する場合、特定の URL アドレスまたはアプリケーションへのアクセスを試み、もしくは、実際にアクセスした特定の個人を特定する情報、または、特定のユーザを特定し得るその他データを含まずに、かかる使用データを提出すること、(iv) お客様は、モニタリング・データの秘密を保持するため適切な手段を講じ、かつ、モニタリング・データを社内のコンピュータ・システムの管理目的に限り使用すること、ならびに、(v) 消費者の許可を得ることなく、消費者向けインターネットのコンテンツにフィルターをかけ、これを選別、管理または検閲するために、本製品を使用しないこと。

10. 限定保証

当社は、本製品が、本期間中の通常の使用状況下において、その時点において適用される当社の公開済みドキュメンテーションに実質的に従って動作することを保証します。上記の保証にもかかわらず、当社は、以下の各号に記載される事項については保証いたしません。(i) 本製品には瑕疵が存在しないこと、(ii) 本製品が、お客様の使用目的の全てを充足すること、(iii) 本製品が、中断せず、または、エラーを伴うことなく使用されること、(iv) 本製品が、本データベースに含まれるアドレスおよびアプリケーションへのアクセスを常に阻止すること、(v) 本データベースが、場合によっては阻止されるべきであり、予測可能な全ての URL アドレスまたはアプリケーションを含むこと、または、(vi) 本データベースに含まれるアドレスおよびアプリケーションが、適切に分類されること。

当社は、お客様から当社へ報告され、当社が合理的に特定、確認できる本製品における重大な不適合性を修正するために合理的な努力を払うものとします。当社または当社の代理人は、かかる不適合性または瑕疵のある本製品を修理し、または、交換します。お客様には、本条が、本製品に関する保証またはその他の義務の違反につき、お客様の唯一の救済手段であり、かつ、当社の唯一の責任を定めるものであることについて了承していただきます。本製品の承認されていない修正、本製品の不正な変更、添付のドキュメンテーションに従わない本製品の使用、または、お客様による本契約上の関連する違反が存在する場合、上記の保証は無効になるものとします。

当社は、本契約が明示的に定める場合を除き、かつ、法令により許容される範囲内において、本製品または本契約の主題に関する市場性もしくは特定目的への適合性に関する黙示の保証等を含め、明示であると黙示であるとを問わず、いかなるその他の保証も行わないものとします。

11. 責任制限

法令により許容される最大限の範囲で、いかなる状況においても、当社、当社のライセンサーまたは再販業者は、その予見可能性の有無を問わず、何らかの請求（データ、のれん（営業権）、ビジネス機会、収益、利益または本製品の使用機会の喪失、データの使用または可用性の中断、その他作業の停止、または、その他資産の毀損、プライバシー、従業員の行為、阻止されるべきであった本データベースに含まれる URL アドレスまたはアプリケーションへのアクセス、本データベースのアドレスまたはアプリケーションのコンテンツ、過失、契約の違反、または不法行為等に関する請求、ならびに第三者による請求等を含みます。）に基づく直接損害、間接損害、結果的損害、特別損害、懲罰的損害賠償または付随的損害について、責任を負わないものとします。当社が、上記の損害発生の可能性について通知されていた場合であっても同様とします。いか

なる場合も、当社の責任総額は、損害と直接の因果関係のある本製品の特定の本加入サービスについて、請求原因となった事態の直前の 1 年間の期間中、お客様から当社へ実際に支払われた金額の総額を超過しないものとします。

12. 所有権

本製品に関する権利、権原および利権の全て、および（たとえ無許可で行われたものであっても）本製品の修正、翻訳または派生物の全て、並びにこれらに関する特許、著作権、営業秘密、商標および全ての知的財産権関連の権利の全ては、引続き当社および当社のライセンサーの所有にのみ帰すものとします。本契約に基づき提供された本製品は、有益、専属的、かつ、独自の製品であり、さらに、お客様には、本製品の所有権に制約され、かつ、従うことに同意していただきます。"Websense®"、"Websense Enterprise®"、"WebCatcher™" 及び "AppCatcher™" は、当社の商標です。当社が本条において商標を記載しなかった場合も、商標権を放棄したとみなされないものとします。お客様は、以下の各号に記載される行為を行わず、かつ、第三者に対し以下の各号に記載される行為を許容しないものとします。(i) 本製品をリバース・エンジニアリング、デコンパイル、または、逆アセンブルすること（ただし、かかる制限にもかかわらず、上記の行為が準拠法令により明示的に許容される場合を除き、かつ、上記の行為が準拠法令により明示的に許容される範囲内とします。）、(ii) 本製品を修正し、または、他のソフトウェア内に、もしくは他のソフトウェアと共に本製品を組み入れること、(iii) 本製品の識別表示またはその他の表示を除去すること、あるいは、(iv) 当社の書面による事前の許可を得ることなく、本製品または本製品の一部を貸与し、複製し、譲渡し、配布しもしくは再販すること。お客様は、バックアップおよびホットスワップの目的に限り、本ソフトウェアのコピーを作成できるものとします。お客様は、当社の書面による事前の承認を得ることなく、本製品について実施されたベンチマーク・テストの結果を公開せず、配布せずまたは開示しないものとし、かつ、第三者に対しかかる行為を許可しないものとします。

13. 知的財産権に関する補償

お客様が本契約に基づいて申し込まれた本製品に関連する特許もしくは著作権の侵害を主張し、または、侵害に関連して、第三者がお客様に対し請求を申し立てた場合に、当社は、自らの費用負担によりお客様を防禦し、かつ、かかる請求が認容されると否とにかかわらず、かかる請求に起因する費用、経費、弁護士費用および責任についてお客様を補償します。ただし、お客様は、権利侵害のかかる請求に関する通知を受領してから 10 日以内に、当社に対し書面により通知しなければならないものとします。当社は、かかる請求の防禦および関連する和解交渉について、唯一の主導権を有するものとします。ただし、当社は、お客様の書面による承認を得ることなく、お客様の金銭的支出を伴う責任あるいはお客様の利益に対する著しい悪影響を及ぼす結果となる事項について受諾する権利も有さないものとします。当社が、お客様に対し、当社が合理的に求めた支援および協力に関連する所要経費を支払う限りにおいて、お客様には、防禦および和解交渉について全面的に支援、協力していただくものとします。かかる請求の防禦および和解における当社の主導権を条件として、お客様は、自らの費用負担により、請求に関してお客様へ助言するお客様自身の弁護士を雇用することができます。

お客様が本製品を使用することに対して、差止命令またはその他の命令が発せられた場合、または、本製品が権利侵害の請求の対象になる可能性があるものと当社が判断した場合には、当社は、自らの選択および費用負担により、(i) お客様のため、本製品を引続き使用する権利を取得し、(ii) 権利侵害を排除するよう本製品を修正し、または (iii) 実質的に同じ性能を備える代替製品と本製品を交換するものとします。当社は、以下の各号に基づく特許または著作権の侵害の請求に関しては、お客様に対しいかなる責任も負うものではありません。(a) 当社により提供されたのではない他の装置またはプログラムと本製品を組合せ、もしくは共に使用したこと、(b) 提供された本製品に、当社以外の者により修正が施されたこと、(c) 第 12 条に定める権利の範囲を超えて、お客様により本製品が使用されたこと、または (d) 当社により提供された本データベースのアップデートあるいは本ソフトウェアのアップグレードを速やかに使用／インストールしなかったこと。上記の (a) から (d) までのお客様の行為に起因する特許または著作権の侵害に関する第三者による請求について、お客様は、当社を補償するものとします。

上記の規定は、知的財産権の侵害に関するお客様の唯一かつ排他的な救済手段であり、かつ、知的財産権の侵害に関する当社の全責任を定めるものとします。

14. 終了／アクセスの停止

お客様が本契約の条件のいずれかに違反した場合、当社は、合理的な通知を行うことにより本契約を終了できるものとします。当社とお客様のいずれかの支払義務、および、（場合に応じ）第 10 条、第 11 条、第 12 条、第 13 条、第 15 条、第 16 条、第 17 条、第 18 条および第 19 条の規定は、本契約の終了または期間満了後も存続するものとします。事由の如何を問わず、本契約が満了、または、終了した場合、本契約に基づく本製品の使用または本データベースへのアクセスについて、お客様に対し許諾された権利の全ては、停止されるものとし、かつ、お客様には、サーバー、コンピュータ、電子機器、デバイス、記憶媒体、またはその他の場所に所在するとを問わず、自らが占有する本製品、および、本製品のコピーの全てを速やかに破棄していただくこととなります。

15. ソフトウェア及びサービス

本契約の条件に従い、かつ、本契約の終了または満了に先立つ限りにおいて、(i) 当社の本データベースおよび本データベースのアップデートへアクセスするため、かつ (ii) 本契約の期間中かつ本注文書に記載される通り、お客様のインターネットおよびアプリケーションの使用を管理するために、当社は、お客様に対し、社内において本ソフトウェアおよび本ソフトウェアのアップグレード（オブジェクト・コード形式のみとします。）へアクセスし、かつ、これを使用する目的の限定的、非独占的、再実施許諾不可、譲渡不可の権利を本契約により許諾します。上記の権利は、本注文書に記載されるシートの数にのみ適用され、かつ、加入料が支払われた場合に限り有効とします。本製品は、第 8 条に定める場合を除き、お客様の指定サーバー上に装備されるものとします。当社は、本契約の条件に従い、本製品に対し、本加入サービスに関する標準的な技術サポートを提供します。高度なサポートに関する提供物およびサービスは、追加料金を支払うことにより利用可能であり、かつ、本契約の条件に従い販売されます。

16. 輸出制限

お客様には、本製品、および関連する技術情報、文書および資料の全てに、米国輸出管理規則あるいはその他諸国の輸出規制に基づく輸出統制が適用されることについて了承していただきます。お客様は、適切な法律、規制および規則の全てを遵守し、かつ、米国商務省あるいはその他の政府当局から適切な許認可を取得している場合を除き、本製品、または関連する技術情報、文書もしくは資料を再輸出できないものとします。

17. 準拠法

本契約は、抵触法の規定が適用される場合を除き、かつ、国際物品売買契約に関する国連条約を適用することなく、すべての点において、米国カリフォルニア州の法令に準拠するものとします。本製品または本契約の目的に起因し、または、関連する紛争の司法的判断に関し、お客様には、米国カリフォルニア州サンディエゴ郡に所在する州裁判所および連邦裁判所の専属管轄権および裁判地に服することに同意していただきます。

18. 政府機関である顧客

米国政府の部局または機関が、本製品を使用する一定の権利を付与された場合、本規定が適用されます。本製品は、(a) 既存のコンピュータ・ソフトウェアおよび添付のドキュメンテーションであり、または、これらを含み、かつ、民間の費用で開発されたものであり、(b) 情報公開法の全ての目的上、当社の営業秘密に属するものであり、(c) 本契約に明示的に記載される限定的利用を条件とし、連邦調達規則 2.101、国防省調達規則 252.227-7014(a)(1) および国防省調達規則 252.227-7015 に

定義される「商用品目」あるいは「商用コンピュータ・ソフトウェア」であり、(d) あらゆる点において、当社に帰属する専有データであり、かつ、(e) 非公開であり、かつ、全ての権利が米国著作権法に基づき留保されます。本製品を使用する一定の権利、および本製品に関する表示または標章を付与された民間の機関および企業に関して、本製品を使用する権利は、「制限付き権利」に限定され、かつ、使用、複製あるいは開示は、本契約に記載される制限、連邦調達規則 12.212 または国防省調達規則 227.7202-3 -227.7202-4 の規定、ならびに、米国連邦法に基づき要求される限りにおいて、連邦調達規則 52.227-14、制限付き権利に関する表示（1987 年 6 月）Alternate III(g)(3) または連邦調達規則 52.227-19 に記載される最低限の制限付き権利を条件とします。技術データが本契約に従い提供される限りにおいて、かかるデータは、連邦調達規則 12.211 および国防省調達規則 227.7102-2 により保護され、かつ、米国政府により明示的に要求される限りにおいて、国防省調達規則 252.227.7015 および国防省調達規則 252.227-7037 に記載される限定権利を条件とします。上記の機関の規定のいずれかが修正または変更された場合、修正または変更後の相当する規定が適用されるものとします。

19. その他

本契約に基づき必要とされる通知または承認の全ては、書面により付与されなければならず、かつ、当社の場合には、本契約の第 1 条に記載される所在地宛て、かつ、お客様の場合には、本注文書に記載される所在地宛てに送付されなければならず、さらに、(i) フェデラル エクスプレスまたはその他宅配便業者により送付され、かつ、発送から 1 営業日以内に受領されたとみなされ、(ii) 米国の配達証明郵便により送付され、かつ、書面による受領証明書に基づき受領されたとみなされ、または、(iii) ファクシミリにより送付され、かつ電送の受領通知に基づき受領されたとみなされるものとします。本契約および本注文書は、当社とお客様間の完全かつ唯一の合意の内容を明示しており、かつ、本契約の目的に関して、口頭または書面による従前の合意、連絡事項、表明および交渉の全てに代替するものとします。本契約および本注文書間に矛盾・不一致が存在する場合、本契約が優先するものとします。本契約に定める事項に関する権利放棄または修正は、当社とお客様双方により署名された書面によって作成されない限り効力を有しません。当社とお客様のいずれかが他方による本契約の違反を宥恕した場合においても、その後の違反についても宥恕したものとはみなされないものとします。本契約は、お客様と関連する権利の承継人をも拘束するものとします。本契約のいずれかの規定が、その全部または一部を問わず、執行不能との判決を下された場合、かかる規定は、必要に応じ、一部または全部を削除されるものとし、かつ、本契約のその他の規定は、引続き効力を有するものとします。お客様には、当社が、当社の顧客名簿においてのみ、お客様の社名を使用できることについて了承していただきます。当社とお客様のいずれについても、全部または一部を問わず、自らの合理的な支配を超える事由のため、義務を履行できず、または、義務の履行に遅延を生じた場合には、本契約に基づき支払うべき料金の支払を除き、かかる不履行または遅延について責任を負わないものとします。

著作権および商標について

©1996–, Websense Inc.
All rights reserved.
10240 Sorrento Valley Rd., San Diego, CA 92121, USA

本マニュアルに記載されている製品および使用方法は、米国 特許番号 6,606,659、6,947,985 およびその他の申請中の特許により保護されています。

本書の一部または全部を Websense, Inc. からの書面による事前の同意なく、いかなる電子メディアまたはコンピュータに複写、複製、転載、翻訳することを禁じます。

本書の内容の正確性については万全を期しています。しかしながら、Websense Inc., は、これを一切保証するものではなく、本製品の商品性および特定の用途に対する適合性についても同じ く一切保証していません。Websense Inc. は、本ガイドまたはガイドに含まれる例の提供、性能、または使用にかかわる偶発的、副次的ないかなる損害に対しても、責任を負いかねます。本書の情報は、通知なしに変更されることがあります。

商標について

Websense は Websense, Inc., の米国および他の国における登録商標です。Websense は米国および国際的に多数の他の未登録の商標を有しています。他のすべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Server および Active Directory は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Red Hat は Red Hat, Inc., の米国および他の国における登録商標です。Linux は Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

本マニュアルに記載されているその他の製品名はそれぞれの企業の登録商標であり、各メーカーにのみ所有権があります。